



P R E S S R E L E A S E

2015年2月17日 パリ

コファス、2014年度は目標通りの業績達成、一株当たり0.48ユーロの配当を予定¹

- 収益 1.6%増加（連結範囲・為替変動補正後ベース）
- 契約維持率は堅調で89.2%にのぼり、新規契約額は7%アップ
- 混合率（再保険考慮後）は79.7%に改善（2.8%減²）
- 当期営業利益³は20.7%アップ⁴、純利益（グループシェア）は23.2%⁵アップ（連結範囲・為替変動補正後ベース）
- 1株当たり利益は0.80ユーロ、配当率は純利益の60%¹

増減率は2013年12月31日付業績との比較による。

コファスグループのジャン＝マルク・ピリュCEOは、次のようにコメントしている。

「コファスは、期待通りの年度財務実績を発表できることを嬉しく思います。本年度も、当社の収益性に優れた成長戦略の強さが実証されました。この順調な業績向上は、コファスのイノベティブな保険商品、優秀な販売網、全世界での事業展開、そして慎重なリスクマネジメントによるものです。」

1 配当は「株式発行・合併・移転プレミアム」をもとに行う。2015年5月19日開催の年次株主総会における承認を条件とする。

2 2013年12月31日付の当社移転費用（830万ユーロ）を除く。

3 当期営業利益には財務費用を含み、修正項目を含まない。

4 連結範囲・為替変動補正後ベースの増減率。当期営業利益（財務費用を含む）は修正され、次の項目が除外されている：移転費用（830万ユーロ）、金融資産の整理によるキャピタルゲイン（2780万ユーロ、2013年12月31日時点）、ハイブリッド証券の利払い（1210万ユーロ、2014年12月31日時点）。

5 連結範囲・為替変動補正後ベースの増減率。純利益（グループシェア）は修正され、次の項目が除外されている：移転費用（830万ユーロ）、金融資産の整理によるキャピタルゲイン（2780万ユーロ、2013年12月31日時点）、ハイブリッド証券の利払い（1210万ユーロ）、IPO関連費用（810万ユーロ）、2014年12月31日付のCoface Re開設関連費用。これらの項目に対しては、2013年標準化後税率が適用されている。

2014年12月31日現在の主要数値

2015年2月17日にCoface SAの取締役会が開催され、2014年12月31日現在の連結財務諸表が検討された。2014年度に関する通年データは、監査役委員会による検査を受けている。下記は未監査財務諸表になる。

損益計算書の各項目（単位：100万ユーロ）	2013年	2014年	増減率	既存契約ベースでの増減率 ⁶
連結収益	1 440	1 441	0.0%	1.6%
うち、経過保険料分	1 129	1 133	0.4%	2.0%
再保険を除く保険引受収入	128	166	30.2%	
投資利益（費用を除く）	40	43	7.7%	
修正項目を除く ⁷				
当期営業利益	195	209	7.1%	
当期営業利益³	173	206	19.4%	20.7%
修正項目を除く ⁸				
純利益（グループシェア）	127	125	(1.8%)	(0.6%)
純利益（グループシェア）	115	140	21.9%	23.2%
修正項目を除く ⁹				

主要比率	2013年 ²	2014年	増減率
純損害率（再保険考慮前）	53.8%	50.4%	(3.5pts)
費用率（再保険考慮後）	28.7%	29.3%	0.6pt
混合率（再保険考慮後）	82.5%	79.7%	(2.8pts)

貸借対照表の項目（単位：100万ユーロ）	31/12/2013	31/12/2014	増減率
自己資本	1 780	1 717	(3.5%)

2 2013年12月31日付の本社移転費用（830万ユーロ）を除く。

3 当期営業利益には財務費用を含み、修正項目を含まない。

6 既存契約ベースの増減率は、連結範囲・為替変動補正後ベースで算出。連結範囲の影響は、2014年度第3四半期におけるブラジルでのプロジェクト公的保証事業の処分（子会社 SBCE が管理）と関連する。

7 集中管理の導入を受け、2013年に金融ポートフォリオの整理によりキャピタルゲインが生じた（2780万ユーロ）。

8 当期営業利益（財務費用を含む）が修正され、次の項目が除外されている：移転費用（830万ユーロ）、金融資産の整理によるキャピタルゲイン（2780万ユーロ、2013年12月31日時点）、ハイブリッド証券の利払い（1210万ユーロ、2014年12月31日時点）。

9 純利益（グループシェア）は修正され、次の項目が除外されている：移転費用（830万ユーロ）、金融資産の整理によるキャピタルゲイン（2780万ユーロ、2013年12月31日時点）、ハイブリッド証券の利払い（1210万ユーロ）、IPO関連費用（810万ユーロ）、2014年12月31日付のCoface Re開設関連費用。これらの項目に対しては、2013年標準化後税率が適用されている。

1. 収益

2014 年度は、14 億 4050 万ユーロの連結収益（2013 年度¹⁰比 1.6%増）を計上した（連結範囲・為替変動補正後ベース）。この数字は、グループが 2014 年 6 月の新規株式公開時に発表した目標通りである。

2013 年度からの上向きの経営動向が、新規契約額の増加（前年度比 7%増）と、89.2%という堅調な契約維持率¹¹（2013 年度は 86.8%）によって裏付けられている。

こうした良好な業績は、コファスが従来から事業展開してきた信用保険市場での競争プレッシャー下で達成された。コファスは新興市場と北米で強力なポジションを築いており、これがグループ全体の成長に大きく貢献している。

収益（単位：100 万ユーロ）	2013 年	2014 年	増減率	増減率 既存契約ベース ⁶
西欧	469.2	461.7	(1.6%)	(2.1%)
北欧	366.8	352.0	(4.0%)	(3.3%)
地中海・アフリカ	216.7	226.5	4.6%	6.7%
北米	101.7	113.7	11.9%	13.4%
中欧	110.0	113.3	3.0%	3.3%
アジア太平洋	94.8	97.1	2.4%	4.6%
中南米	81.2	76.1	(6.2%)	11.5%
連結収益	1 440.3	1 440.5	0.0%	1.6%

コファスは、本年度を通じて、商品イノベーション、多重販売経路モデルの導入、販売地域拡大の 3 つを基軸として事業戦略を実行した。

イノベティブな商品「EasyLiner（イージーライナー）」（中小企業向け）は、すでに 12 カ国で展開されている。さらに、4 つの新サービス商品「CofaMove（コファムーブ）」（スマートフォン向けアプリケーション）、「CofaServe（コファサーブ）」（コファスのサービスと顧客の IT 情報システムを統合するソリューション）、「PolicyMaster（ポリシーマスター）」、「CashMaster（キャッシュマスター）」（日常的な契約管理と銀行ローン利用を簡素化する二つの新サービス）が投入されている。

また、グループでは、世界各地の事業拠点をさらに拡大した。新たに 3 つの事業認可を取得し、コロンビア（2014 年 1 月）、モロッコ（2014 年 12 月）、そしてイスラエル（2015 年 1 月）で信用保険商品の直接販売が可能となった。フィリピンとカザフスタンでも駐在事務所を開設し、セルビアでは新たな事

⁶ 既存契約ベースの増減率は、連結範囲・為替変動補正後ベースで算出。連結範囲の影響は、2014 年度第 3 四半期におけるブラジルでのプロジェクト公的保証事業の処分（子会社 SBCE が管理）と関連する。

¹⁰ 連結範囲・為替変動補正後ベース

¹¹ 2014 年 12 月 31 日現在

業提携契約を締結した。また、北米地域での事業展開を強化し、アメリカでの販売代理店数は 50%増となった。コファスは、現在世界 98 カ国で信用保険を直接販売又は提携販売により提供している。

2. 実績

2011 年から戦略重点の見直しを開始したが、リスク管理が引き続きグループの最優先課題となっている。景気が低迷したが年度末の純損害率（再保険考慮後）は 50.4%で、2013 年度比 3.5%減となっている。

間接費用は年度を通じて前年と横ばいで、費用率も 29.3%（前年度 0.6%増²）とほぼ安定している。

全体的に見て、混合率は 79.7%（前年度比 2.8%減）で、予測通りとなった。

当期営業利益³⁻⁸は 20.7%増で 2 億 600 万ユーロ、純利益（グループシェア）⁹は 23.2%増で 1 億 4000 万ユーロとなった。いずれも修正項目は除外されている。

1 株当たり純利益は 0.80 ユーロで、これをもとに、2014 年度は配当率 60%として 1 株当たり 0.48 ユーロの配当¹が総会で提案される。

3. 財務の健全性

2014 年 12 月 31 日現在のグループの資本合計は IFRS 基準で 17 億 2420 万ユーロ。プラスの純利益（1 億 2590 万ユーロ）と、2014 年度第 2 四半期の資本剰余金配当（2 億 2700 万ユーロ）によるマイナスが、主な変動原因となっている。

コファスは、第 1 四半期に 3 億 8000 万ユーロ相当の劣後債を発行し、法定自己資本の強化と資本構造の最適化が可能となった。

保険金支払リスクとファクタリングのリスクのカバーに必要な経済資本比率の比率は 144%¹²で、2013 年と比べてもほぼ安定している¹³。

2014 年 12 月、格付機関フィッチとムーディーズにより、グループに対して付与された AA-と A2（安定的見通し）の保険会社財務格付が確認された。

1 配当は「株式発行・合併・移転プレミアム」をもとに行う。2015 年 5 月 19 日開催の年次株主総会における承認を条件とする。

2 2013 年 12 月 31 日付の本社移転費用（830 万ユーロ）を除く。

3 当期営業利益には財務費用を含み、修正項目を含まない。

8 当期営業利益（財務費用を含む）が修正され、次の項目が除外されている：移転費用（830 万ユーロ）、金融資産の整理によるキャピタルゲイン（2780 万ユーロ、2013 年 12 月 31 日時点）、ハイブリッド証券の利払い（1210 万ユーロ、2014 年 12 月 31 日時点）。

9 純利益（グループシェア）は修正され、以下の項目が除外されている。移転費用（830 万ユーロ）、金融資産の整理によるキャピタルゲイン（2780 万ユーロ、2013 年 12 月 31 日時点）、ハイブリッド証券の利払い（1210 万ユーロ）、IPO 関連費用（810 万ユーロ）、2014 年 12 月 31 日付の Coface Re 開設関連費用。これらの項目に対しては、2013 年標準化後税率が適用されている。

12 未監査

13 劣後債の発行（3 億 8000 万ユーロ）と特別配当（2 億 2700 万ユーロ）を考慮した後の数字。

4. 今後の見通し

2014年には期待通りの景気回復が見られたが、回復は緩やかで難航しており、世界中で厳しい状況にさらされている国、業界、会社などのさまざまな弱点が解決されるまでには至っていない。

改善は見られるもののまだ厳しい状況下で、コファスのビジネスモデルが2014年度は強みを発揮した。このビジネスモデルをもとに、慎重に注意を払いつつ、グループ全体で2015年度の課題に取り組んでいくことができるだろう。

- リスクマネジメントは、顧客会社との関係深化と慎重な経営判断を引き続き基調とする。
- 新商品開発と販売経路多重化の戦略をもとに、当社ポートフォリオの収益性を確保しつつ、顧客基盤、さらには信用保険市場を拡大する。
- グループの事業展開地域の拡大を背景に、活気のあるマーケットで成長を捕捉する。

こうした要素が、コファスの成長・収益拡大路線の維持確保に向けた戦略となっている。

連絡先

メディア

ジョナタン・ペレズ
- T. +81 (0)3 5402 6108 –
jonathan.perez@coface.com

アナリスト / 投資家

Nicolas ANDRIOPOULOS
Cécile COMBEAU
T. +33 (0)1 49 02 22 94
investors@coface.com

連絡先:

ジョナタン・ペレズ - Tel. 03 5402 6108 – jonathan.perez@coface.com

コファスとは

取引信用保険で世界有数の企業であるコファス・グループは、国内及び輸出取引において、取引先の債務不履行のリスクからお客様を守る為のソリューションを、全世界の企業に提供しています。2014年には、4,440名のスタッフのサポートによって、コファス・グループは14億4100万ユーロの連結売上高を計上しました。98か国における直接的及び間接的なプレゼンスによって、コファスは 37,000を超える企業の 200か国以上にまたがる取引をカバーしています。コファスでは、企業の決済動向に関する独自の知見と、350名のアンダーライターの専門知識に基づいた、160か国に及ぶカントリー・リスク評価を四半期毎に発表しています。

フランスでは、コファスはフランス政府の輸出保証の管理をしています。

www.coface.jp

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています。
ISINコード: FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA





P R E S S R E L E A S E

2015年決算スケジュール

2015年5月15日：2015年度第1四半期業績発表

2015年5月19日：株主総会

財務情報

本プレスリリースとCoface SAに関する総合的な規制情報は、グループの次のウェブサイトでご覧になれます。<http://www.coface.com/Investors>

重要な情報：本報道資料には、わずかながら将来を考慮した記述が含まれている。こうした記述は、期待、信念、予測、将来的な計画及び戦略、予想される出来事又はトレンド、また歴史的ではない事項に関する類似の表現に関連しているものである。将来に関する情報及び表明は、今後の業績を保証するものではなく、さまざまなリスクや不確実性に影響される。実際の結果は、将来に関する情報及び表明において表出・暗示された、又はそれによって予測されるものとは大きく異なってくる可能性がある。コファス・グループの活動に影響を与える可能性のある要因、リスク、不確実性についての説明を入手するには、2014年5月6日付けで、第14号029として Autorité des Marchés Financiers (AMF) に登録された登録基本資料の第2ページ「注意」を参照することを推奨する。コファス・グループは、本報道資料の日付以降に生じた出来事又は状況を反映させるために、これらの未来に関する表明及び情報に関する更新を提供する義務を負わず、またこれを提供しない。